甲賀市商工業振興計画策定に係るアンケート調査の実施要領

◆アンケート調査名

・「甲賀市商工業振興計画策定に係る市内商工業者向けのアンケート調査」

◆調査の目的について

・甲賀市では、産業振興の指針となる「甲賀市地域産業振興条例」を平成28年７月に制定し、本条例の基本理念に基づき、商工業の振興施策を計画的に推進するため、甲賀市商工業振興計画（以下「振興計画」という。）を策定に取り組んでいる。

・本調査は、市内各事業所の経営実態をはじめ、経営全般にわたる課題・問題点や事業運営に関するニーズ等を把握することにより、新たな振興計画策定の基礎資料とすることを目的として実施するものである。

◆調査対象先と抽出方法について

・平成 28 年経済センサス－活動調査名簿をもとに、市内民営事業所 4,039 事業所から産業別、規模別に無作為に約 1,500 事業所を抽出。

◆調査実施期間とのスケジュールについて

	30年4月	5月	6月	7月	8月
①アンケート調査実施要領を審議、決定	○				
②調査対象先の抽出作業等の調査実施準備	○				
③アンケート調査票の発送	○				
④アンケート調査実施期間	○	○ ○ ○			
⑤督促状の発送		○			
⑥調査票の回収、入力			○ ○		
⑦調査結果の分析			○ ○		
⑧調査書の作成				○ ○ ○	○ ○
⑨第3回審議会にて報告					○

◆アンケート調査票について

・添付資料をご参照ください。

◆調査実施体制について

・㈱しがぎん経済文化センターが、全体のとりまとめを行う。

・㈱東京商工リサーチ滋賀支店が、発送、回収、分析、報告書作成を担当。

平成 30 年４月 13 日

（株）しがぎん経済文化センター

甲賀市内の事業所の皆さまへ

甲賀市商工業振興計画策定に係るアンケート調査についてのご協力のお願い

平素から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、甲賀市では、産業振興の指針となる「甲賀市地域産業振興条例」を平成28年７月に制定し、本条例の基本理念に基づき、商工業の振興施策を計画的に推進するため、甲賀市商工業振興計画（以下「振興計画」という。）の策定に取り組んでいます。

本調査は、市内各事業所の経営実態をはじめ、経営全般にわたる課題・問題点や事業運営に関するニーズ等を把握することにより、新たな振興計画策定の基礎資料とすることを目的として実施するものです。

本調査の実施にあたっては、平成28年経済センサス－活動調査名簿から産業・規模別に無作為に甲賀市内の約1,500事業所を抽出させていただきました。調査結果はすべて統計的に処理を行い、本調査の目的以外には使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【ご記入にあたってのお願い】

１．ご回答は、事業所単位の調査ですので、事業所の単位で各設問にお答えください。
２．ご回答は、貴事業所の経営や業務全般について把握されている方にお願いします。
３．ご回答は、選択肢の中から番号に〇をつけてください。答えが選択肢の中にない場合は、「その他（ ）」を選び、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
４．この調査は、平成３０年３月３１日（土）を基準日としてお答えください。
５．ご記入いただきました調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**平成３０年５月３１ 日（木）までに**ご投函ください。

【調査実施主体】

甲賀市役所 産業経済部 商工労政課（〒520－8502　甲賀市水口町水口6053番地）
※なお、本調査は下記の(株)しがぎん経済文化センターに業務委託しています。

【お問い合わせ先】

◆本調査の内容等についてのお問い合せは、下記の業務委託先にお願い致します。

（株）しがぎん経済文化センター　産業・市場調査部
〒520－0806　大津市打出浜２番１号　コラボしが21　４階
電 話：０７７－５２３－２２４５／ＦＡＸ：０７７－５２３－２２６５
E－mail：keizai@keibun.co.jp（部代表）
※電話の場合は、午前９時～午後５時（土日・祝日を除く）にお願い致します。

㊙ 甲賀市商工業振興計画策定に係る市内商工業者向けのアンケート調査票

１．事業所の概要について

(1) 事業所の属性	（ふりがな：　　） ①事業所名：
	②事業所の代表者名 役職： （ふりがな：　　） 氏名：
	③ご記入者名 所属・役職： （ふりがな：　　） 氏名： ＴＥＬ：（　　）（　　）（　　） E－mail:（　　）
	④事業所の所在地 〒：（　　）－（　　） 甲賀市（　　） ＴＥＬ：（　　）（　　）（　　） ＦＡＸ：（　　）（　　）（　　） ＵＲＬ：（　　） E－mail:（　　）
(2) 経営形態 （いずれかに〇を）	①個人経営　②合名会社・合資会社　③有限会社 ④株式会社　⑤その他（　　）
(3) 立地機能 （いずれかに〇を）	①店舗・営業所・展示場　②事務所　③研究所・開発機能 ④生産主体の工場　⑤倉庫・物流センター ⑥その他（　　）
(4) 資本金	（　　）万円
(5) 事業開始（創業）年（いずれかに〇と数値を）	①明治（　　）年　②大正（　　）年 ③昭和（　　）年　④平成（　　）年 ⑤明治以前：（(例)元禄 10 年）（　　）年
(6) 従業員数 （該当箇所に人数を）	①役　員（　　）名　②正社員（　　）名 ③パート（　　）名　④契約社員（　　）名 ⑤派遣労働者（　　）名　⑥その他（　　）名 ※合計（　　）名

<table>
<tr>
<td>（7）従業員の居住地
（おおよその比率を）</td>
<td>
<table>
<tr><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr>
<tr><td>地域</td><td>甲賀市内</td><td>近隣市町</td><td>周辺市</td><td>その他の
県内</td></tr>
<tr><td>比率</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td></td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr>
<tr><td>地域</td><td>三重県内</td><td>愛知県内</td><td>近畿
（滋賀を除く）</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>比率</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td><td>（　　）割</td></tr>
</table>
（注）②近隣市町：湖南市、栗東市、日野町、竜王町、東近江市
③周辺市：野洲市、守山市、草津市、大津市
⑦近畿（滋賀を除く）：大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の２府３県
</td>
</tr>
<tr>
<td>（8）主要業種
（いずれかに〇を）</td>
<td>①農林漁業　②鉱業、採石業、砂利採取業　③建設業
④製造業　⑤電気・ガス・熱供給・水道業
⑥情報通信業　⑦運輸業、郵便業　⑧卸売業、小売業
⑨金融業、保険業　⑩不動産業、物品賃貸業
⑪学術研究、専門・技術サービス業
⑫宿泊業、飲食サービス業　⑬生活関連サービス業、娯楽業
⑭教育、学習支援業　⑮医療、福祉
⑯複合サービス事業　⑰サービス業（他に分類されないもの）</td>
</tr>
</table>

２．貴事業所の最近の業績について

(9) 直近決算の売上高について （いずれかに○を）	①１千万円未満　②１千万円以上３千万円未満 ③３千万円以上１億円未満　④１億円以上３億円未満 ⑤３億円以上 10 億円未満　⑥10 億円以上 50 億円未満 ⑦50 億円以上 100 億円未満　⑧100 億円以上
(10) 前期との比較 （いずれかに○を）	①大幅増加(20%以上の増加) ②やや増加(５%以上 20%未満の増加) ③ほぼ横ばい(±５%未満) ④やや減少(５%以上 20%の未満の減少) ⑤大幅減少(20%以上の減少)
(11) 主な増加要因	(10) で①か②に回答の場合、該当する要因３つまでに○をつけてください。 ①新商品、新サービス等の開発　②技術革新　③国内の販路拡大 ④国内ＥＣ（電子商取引）・越境ＥＣの取組み　⑤納期の短縮化 ⑥Ｍ＆Ａ　⑦事業多角化　⑧商品、サービス等の差別化 ⑨営業力の強化　⑩景気変動　⑪物流の合理化 ⑫商品、サービス等の内製化　⑬設備の新設・更新 ⑭同業他社の廃業　⑮少子化・高齢化等社会環境の変化 ⑯事業拠点の海外展開・海外販路拡大 ⑰国体やオリンピック等の特需 ⑱その他（　）
(12) 主な減少要因	(10) で④か⑤に回答の場合、該当する要因３つまでに○をつけてください。 ①新商品・新サービス等の開発の遅れ　②技術力の遅れ ③市場の縮小　④業務効率の低下　⑤競合激化　⑥景気変動　⑦親企業の移転　⑧設備の老朽化　⑨納品先からの値下げ要請　⑩仕入先からの値上げ要請　⑪発注企業の選別強化　⑫営業力不足　⑬人手不足・人材不足　⑭人材の高齢化 ⑮情報化、ＩＴ活用の遅れ　⑯広告宣伝活動の不足 ⑰その他（　）

３．貴事業所の取引関係について

（13）原材料や部品商品、サービスなどの主な仕入先の地域と割合について

主な仕入れ取引先の地域を３か所選び、おおよその比率を記入してください。

	①	②	③	④	⑤
地域	甲賀市内	県内 （甲賀市以外）	近畿 （滋賀を除く）	東海	北陸・信越
比率	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割

	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
地域	関東	東北・ 北海道	中国・四国	九州・沖縄	海外 （　　）
比率	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割

（注）③近畿（滋賀を除く）：大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の２府３県
④東海：三重、愛知、岐阜、静岡の４県
⑤北陸・信越：福井、石川、富山、長野、新潟の５県

（14）主な販売先・受注先の地域と割合について

主な販売・受注取引先の地域を３か所選び、おおよその比率を記入してください。

	①	②	③	④	⑤
地域	甲賀市内	県内 （甲賀市以外）	近畿 （滋賀を除く）	東海	北陸・信越
比率	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割

	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
地域	関東	東北・ 北海道	中国・四国	九州・沖縄	海外 （　　）
比率	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割	（　　）割

（注）③近畿（滋賀を除く）：大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の２府３県
④東海：三重、愛知、岐阜、静岡の４県
⑤北陸・信越：福井、石川、富山、長野、新潟の５県

（15）経営の強みや特徴について

貴事業所の経営における「強み」や「特徴」を３つまで選び、○をつけてください。

①独自の技術力　②納期の厳守、短期化　③コスト競争力
④品質保証力　⑤複数の取引先の確保
⑥多品種少量生産等の対応力　⑦自社製品の開発力
⑧豊富な品揃え　⑨ＥＣ（電子商取引）の取組み
⑩ＰＢ商品の開発・提案　⑪独自の商品力　⑫高度なＩＴ化
⑬取引先への提案力　⑭市場・取引先などの情報収集力
⑮ＰＲ力、宣伝力　⑯営業・販売力　⑰最新設備　⑱人材
⑲その他（　　）

４．貴事業所の事業展開のなかでの「企業間連携」について

（16）企業間連携の実績について	他の企業等との連携（共同事業、異業種交流、農商工連携等）の実績について、いずれかに○をつけてください。 ①ある（あった）　　②ない（検討している） ③ない（検討していない）
（17）企業間連携の種類について	（16）で①か②に回答の場合、その種類について該当するものすべてに○をつけてください。 ①同業企業との連携（いわゆる「水平連携」） ②川上・川中・川下企業との連携（いわゆる「垂直連携」） ③異分野・異業種企業との連携 ④その他（　　）
（18）企業間連携のきっかけについて	（16）で①に回答の場合、そのきっかけについて該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①個人的な人脈を通じて ②大学･短大等を通じて ③取引先を通じて ④異業種等の交流会・研究会活動を通じて　⑤学会活動を通じて ⑥業界団体、組合等を通じて　⑦支援機関（商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、滋賀県産業支援プラザ等）を通じて ⑧県（公設試験研究機関含む）、市町を通じて ⑨その他（　　）
（19）企業間連携の内容について	（16）で①に回答の場合、その内容について該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①新商品、新サービス、新技術等の共同研究・開発 ②新商品、新サービス、新技術等に関する情報交換 ③マーケットに関する情報交換　　④共同企画・設計・デザイン ⑤共同受注　⑥共同製造　⑦共同販売　⑧共同での人材育成 ⑨共同でのイベント実施　⑩展示会等への共同出展　⑪共同ＰＲ ⑫その他（　　）
（20）企業間連携の成果について	（16）で①に回答の場合、その成果について該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①新商品、新サービス、新技術等の開発に成功した ②国内の販路開拓につながった　③海外の販路開拓につながった ④技術レベルの向上、ノウハウの蓄積につながった ⑤社員の育成につながった　　⑥人的ネットワークが広がった ⑦関連情報の入手が容易になった ⑧その他の成果（　　） ⑨成果がなかった（その原因：　　）

（21）企業間連携を行っていない、検討しない理由	（16）で③に回答の場合、その理由として該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①どこに行ったらいいかわからないから ②敷居が高いから　③費用がかかるから ④求めていたものと合致しなかったから ⑤自社の技術を知られたくないから　⑥必要性を感じないから ⑦その他（　　）
（22）企業間連携の課題、問題点について	企業間連携を進めていくうえでの課題、問題点について、該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①活動資金の確保　②活動に関わる人材の確保 ③活動時間の確保　④経営意識の多様性 ⑤リーダー及び運営体制の確保　⑥構成メンバー間の利害調整 ⑦その他（　　）

５．貴事業所における人材の過不足感、人材の確保、人材育成（教育）について

（23）人材の過不足感について	貴事業所における人材の現在の過不足感について、いずれかに○をつけてください。 ①不足　②やや不足　③過不足感はない ④やや過剰　⑤過剰
（24）不足感のある人材の職種について	（23）で①か②に回答の場合、不足感のある人材の職種について該当するものすべてに○をつけてください。 ①営業　②経理　③生産　④販売　⑤物流 ⑥企画・開発　⑦労務　⑧知的財産　⑨法務 ⑩経営管理　⑪工場長、現場監督者　⑫ＩＴ技術者 ⑬外国語対応者　⑭技術者　⑮総合職 ⑯その他（　　）
（25）過剰感のある人材の職種について	（23）で④か⑤に回答の場合、過剰感のある人材の職種について該当するものすべてに○をつけてください。 ①営業　②経理　③生産　④販売　⑤物流 ⑥企画・開発　⑦労務　⑧知的財産　⑨法務 ⑩経営管理　⑪工場長、現場監督者　⑫ＩＴ技術者 ⑬外国語対応者　⑭技術者　⑮総合職 ⑯その他（　　）

（26）人材募集の取組みについて	貴事業所で人材を募集する際に実施している取組みについて、該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①求人チラシや情報誌への掲載 ②メディアの活用　③ハローワークの求人情報登録 ④インターンシップの実施 ⑤公的機関の事業活用（ＪＯＢフェア等） ⑥求人説明会の開催、参加　⑦企業ガイドブックの作製 ⑧ネットによる求人情報の発信 ⑨その他（　）
（27）人材募集・採用の結果の満足度について	貴事業所で実施した人材募集や採用の結果について、いずれかに○をつけてください。 ①満足 ②不満（内容：　） ③募集・採用活動をしていない ④その他（　）
（28）人材育成（教育）の取組みについて	貴事業所において実施している従業員向けの人材育成（教育）の取組みについて、該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①ＯＪＴ（現場での指導）　②社内研修　③公的機関主催の研修 ④業界団体主催の研修　⑤民間企業主催の研修 ⑥自己啓発・自己研鑽　⑦他社への派遣 ⑧その他（　） ⑨特に何もしていない

６．貴事業所における事業の後継者について

（29）現在の事業所の代表者について	貴事業所の現在の代表者について、いずれかに○をつけてください。 ①創業者　②創業者の２代目　③創業者の３代目以上 ④従業員出身　⑤本社からの出向者　⑥他社からの出向者 ⑦その他（　）
（30）後継者の状況について	貴事業所の代表者の後継者について、いずれかに○をつけてください。 ①既に決まっている　②現段階では決める必要はない ③本社で決めるので問題はない ④後継者が決まらず困っている ⑤自分の代で廃業するので必要ない ⑥その他（　）

７．インターネットなどの情報化への対応について

（31）利用している情報ツールについて	現在、貴事業所で利用している情報ツールについて、該当するものすべてに○をつけてください。 ①インターネット　②電子メール（パソコン、スマホ等） ③社内ＬＡＮ（無線によるデータ転送を含む） ④本支店間の社内オンライン　⑤取引先との独自オンライン ⑥利用していない ⑦その他（　　）
（32）インターネットの活用状況について	貴事業所におけるインターネットの現在の活用状況について、該当するものすべてに○をつけてください。 ①ホームページを開設している ②ホームページで注文を受けている ③インターネット上の仮想商店街（ＥＣモール）に出店している ④電子メールを業務連絡に利用している ⑤電子メールを顧客との情報交換、セールスに利用している ⑥電子メールで顧客から注文を受けている ⑦Ｆａｃｅｂｏｏｋ（フェイスブック）を利用している ⑧利用していない ⑨その他（　　）
（33）情報化の問題点について	貴事業所における現在の情報化の問題点について、いずれかに○をつけてください。 ①情報化に対応できる人材がいない ②情報化投資の資金が足りない ③特に問題はない ④本社の指示に従うのみ ⑤その他（　　）

８．現在の事業の将来性について

(34)経営の課題・問題点について	現在の貴事業所の経営における課題・問題点について、該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①仕入先からの値上げ要請　②販売納入先からの値下げ要請 ③取引先の廃業・業績悪化　④同業者間の競争の激化 ⑤受注・売上の停滞　⑥燃料費の高騰　⑦資材・原材料の高騰 ⑧人件費の増加　⑨人件費以外の経費の増加　⑩利益の減少 ⑪為替レートの変動　⑫人材の確保・育成　⑬雇用の維持 ⑭後継者不足　⑮工場・機械の狭小・老朽化 ⑯生産能力の不足　⑰返済難 ⑱その他（　　）
(35) 今後の事業展開について	貴事業所の今後の事業展開について、該当するもの３つまでに○をつけてください。 ①既存事業を拡大する ②既存事業に加え、新たな事業を展開する ③既存事業をやめ、新たな事業を展開する ④既存事業を縮小し、そのまま続ける ⑤既存事業を縮小し、やがては廃業する ⑥今までどおりで変更しない ⑦本社の指示に従う ⑧その他（　　）
(36) 経営についての相談先について	貴事業所の経営についての相談先として、該当するものすべてに○をつけてください。 ①商工会　②農協　③中小企業団体中央会 ④滋賀県産業支援プラザ　⑤滋賀県事業引継ぎ支援センター ⑥市、県、国　⑦金融機関 ⑧その他（　　）

９．甲賀市などの行政に期待することについて

<table>
<tr><td>（37）甲賀市に立地するメリットとデメリットについて</td><td>貴事業所が甲賀市に立地するメリットとデメリットについて、それぞれ該当するもの<u>３つまでの番号</u>を記入してください。
①原材料の調達　②受注先との距離　③外注先との距離
④地価、家賃　⑤公共交通機関の便　⑥産業支援機関
⑦学術研究機関　⑧情報通信基盤　⑨地下水の利用
⑩事業用地の確保　⑪従業員の確保　⑫豊かな自然環境
⑬自然災害が少ない　⑭「滋賀」の地域のイメージ
⑮情報の入手　⑯長年のつきあい　⑰道路交通事情
⑱地方税の負担　⑲他社との競合
⑳その他　（　　）
<table><tr><td>メリット（3つまで）</td><td></td></tr><tr><td>デメリット（3つまで）</td><td></td></tr></table>（※「⑳その他」の場合は、メリットかデメリットかがわかるように記入してください）</td></tr>
<tr><td>（38）公的支援制度の利・活用（実績、要望）について</td><td>貴事業所が事業展開する上での公的支援制度の利活用について、実績と要望に分けて、それぞれ該当するもの<u>３つまでの番号</u>を記入してください。
①金融支援（制度融資、債務保証等）　②補助金・助成金
③専門家相談、専門家派遣　④経営診断、経営分析
⑤研修会、交流会　⑥設備・機械の貸与・リース
⑦その他（　　）
<table><tr><td>実績（3つまで）</td><td></td></tr><tr><td>要望（3つまで）</td><td></td></tr></table>（※「⑳その他」の場合は、メリットかデメリットかがわかるように記入してください）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>（39）甲賀市などの行政に期待する支援策（市政全般）について</td><td>貴事業所が事業展開する上で、甲賀市などの行政に期待する支援策（市政全般）について、重要と考えるもの<u>５つまでに</u>○をつけてください。
【インフラ整備】
①公共交通（電車・バス等）の充実　　②幹線道路網の整備
③道路の維持管理
【基礎的な行政サービスの充実】
④介護・福祉サービスの向上　　⑤子育て支援の充実
⑥窓口サービスの延長　等
【産業振興施策の充実】
⑦制度融資、補助金等の財政金融支援
⑧販路拡大、異業種交流等によるビジネス拡大に関する支援
⑨空き店舗、空き用地等の情報提供
⑩その他（　　）</td></tr>
<tr><td>（40）甲賀市などの行政に期待する支援策（産業振興）について</td><td>貴事業所が事業展開する上で、甲賀市などの行政に期待する支援策（産業振興）について、重要と考えるもの<u>５つまでを、重要な順に番号を</u>記入してください。
①制度融資の充実　　②補助金などの行政情報の提供
③後継者（人材）育成のための支援　　④人材確保のための支援
⑤専門家派遣制度の実施　⑥コンピュータ化・ＩＣＴ化への支援
⑦経営者の研修制度や経営指導　　⑧経営相談の実施
⑨販路拡大の支援　　⑩異業種交流の支援
⑪創業、異業種転換への支援　⑫空き店舗・空き工場の活用支援
⑬海外進出への支援　　⑭経済団体や支援機関との連絡調整
⑮その他（　　）
<table><tr><td></td><td>1番　2番　3番　4番　5番</td></tr><tr><td>重要な順で5つまで</td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>（41）甲賀市の市政全般についての要望</td><td>貴事業所が事業展開する上で、甲賀市の市政全般について要望があれば、ご自由に記入してください。</td></tr>
</table>

※お忙しい中、本アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。